

平成30年度第2回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会
会議録（要約版）

1 開会

2 議題

(1) 前回議事録について（資料1）

特になし

(2) 市内における動物病院の協力について

市内動物病院からの協力を得る上で、必要な取り決めについて話し合われた。

前提として、市と市内動物病院との間において、協定書等の書面によって大枠を定めることとする。

その中で、統一的な取り決めとして、補助金額、手術の依頼に関する注意事項を確認した。ただし、現段階では、東小金井ペットクリニック及びみなみ小金井動物病院に限り、それ以外の市内動物病院については今後、個別に調整を図る。

補助金額について、小金井市飼い主のいない猫対策要綱第21条のとおり、不妊手術が1頭につき1万円、去勢手術が1頭につき5千円とする。また、税込み額とし、支払方法は現金とする。

手術の依頼に関する注意事項としては、年間の頭数の上限を20頭、ノミ取り代は1千円、手術の予約は1週間前とする。

(3) その他

特になし

3 報告事項

(1) 飼い主のいない猫対策ワークショップについて（資料2）

平成30年11月23日に801会議室にて、飼い主のいない猫対策ワークショップを開催した。登録ボランティアや市民の方を交えて、2時間ほど行った。

話し合われた内容としては、飼い主のいない猫におけるネットワークが構築できていないこと、及び市内動物病院の協力が得られていないことが挙げられた。ネットワークについては、今後登録ボランティアを増やしてするためのミニセミナーの開催を予定している。また、動物病院

については、行政が主導となって話を前進させる必要があるのではないか、との内容であった。

(2) 近況報告について(資料3)

平成30年度の不妊・去勢手術数は昨年度と比較して減少している。要因としては、より地域が主体となる形での活動に変換したこと等が挙げられる。

今後は、登録ボランティアを増やすことで、現場の活動を活発にしていくことを目指していく。

(3) 第4回飼い主のいない猫対策セミナーについて

平成31年1月26日に開催するため、チラシの設置等広報の協力を依頼した。

(4) その他

特になし

4 次回協議会の日程について

平成31年3月頃を予定している。

5 その他

特になし